

<b>学校名</b> [ 仙台市立八幡小学校 ] [ 小 ] <b>学校</b> [ 1, 2, 3 ] <b>年版</b> <b>単元名</b> [ あの日 2011.3.11 ] <b>P4～5</b> <b>教科・領域名</b> [ 学級活動 ] [ <b>時間</b> 45分 ]	<b>氏名</b> [ 宮崎 美喜 ]
<b>主な学習活動</b> (実際に行った活動)	<b>指導の実際</b>
<b>目指す児童の姿</b> ◆東日本大震災の被害の様子やそのときの人々の状況について、関心を持って話を聞いたり考えたりできるようにする。 ◆話し合いを通して、防災や減災の学習の大切さに気付くようにする。	
<b>1 東日本大震災の被害の様子について知る。</b> 今から 5 年前、東北地方でとても大きな地震が起きました。①～⑤の写真から分かることや気付いたことは何ですか。 ・家が水の中にある。燃えている家もある。 ・大きな波が押し寄せている。 ・ヘリコプターは人を運んでいるのかな。 ・建物がぐちゃぐちゃに壊れている。 ・体育館に人がいっぱい集まっている。	○授業参観でこの学習を行い、保護者に協力をいただく。 ○児童は当時 1～2 歳なので、震災に関する記憶はほとんどない。写真を見ても正確に状況を捉えるのは難しいので、被害の様子を説明する。(地震による津波と、それによる被害、建物の倒壊、避難所に集まる人々等)
<b>2 震災後の人々の生活の様子を知る。</b> 大きな地震のために津波が起こり、たくさんの家が流されました。道路も使えなくなったので、ヘリコプターで人を助けています。道路の他に、どんなものが使えなくなったのでしょうか。また、そのためにどんな困ったことがあったのでしょうか。 ・電気、水道、電話、ガスが使えなくなった。 ・電気が使えなくて暗い。ヒーターが使えなくて寒い。 ・ご飯が作れない。お風呂にも入れない。	
震災のとき、みなさんはまだ 1～2 歳でした。そのときの様子を、お父さんやお母さんに聞いてみましょう。 ・子供の上に家具が倒れないように、必死で支えた。 ・懐中電灯を点け、話をしたり歌を歌ったりして元気を出した。どこも真っ暗で、星がきれいだった。 ・家にあった缶詰などを食べた。ヒーターが使えなくて寒かった。 ・体育館に避難し、おにぎりをもらって食べた。	
<b>3 まとめ</b> 震災の様子を勉強して、分かったことや思ったことは何ですか。 ・地震のとき、たくさんの人が亡くなって、大変なことがいっぱいあったことが分かった。 ・助けてくれた人がたくさんいたことが分かった。 ・また地震がきたら、どうすればいいのかな。	○生活グループにして、子供たちの保護者に震災当時の様子を話してもらおう。自分の家族の様子や友達の様子について直接話を聞くことにより、児童が自分の身近な問題として捉えられるようにする。 ○ライフラインの復旧や支援物資、炊き出等、全国から支援の手が差し伸べられたことにも触れる。 ・家を流された人たちは、どれくらいつらかったのか。今は、どうしているのか。(児童の感想)
本時の授業で学んだことを、①どこに②どのようにつなげるか。 ◆道徳「かぞくのやくにたつこと」(4ー(3))につなげ、助け合って生活する意識を持たせる。 ◆「地震想定避難訓練」につなげ、自分なりのめあてを持って訓練に参加させるようにする。	